

# 小川町内会では、令和3年度に「地区防災計画」を策定しました！

## 地区防災計画とは？

地区防災計画は、地域住民による自発的な防災活動であり、東日本大震災を契機に平成25年に創設されました。

過去の災害において避難や救命救助などに大きな役割を果たしてきた地域での助け合い、支え合いの「共助の力」を育む取り組みです。

## 計画策定までの流れ

町内会役員、総代、民生委員、子ども会世話人、老人クラブ会長などが地域の代表として集まり、被災地における支援活動の経験が豊富な認定NPO法人レスキューストックヤード(RSY)の協力を得て、ワークショップ(話し合い)を行いました。

大規模な風水害や地震の発生が危惧されるなか、地区の特性に応じた防災上の課題について積極的な意見交換を行い、令和4年度以降に取り組む防災活動の内容を作成しました。

### ワークショップ1「地区の特性の確認」

- 強み：ご近所同士気軽に声をかけあえる  
防犯や福祉活動がさかん
- 課題：矢作川の決壊で最大5mの浸水  
南海トラフ地震で震度6強の揺れ



### ワークショップ2「災害時の課題の抽出」

- ①避難のタイミング、場所、方法  
いつ避難を開始すれば良いの？  
どこに逃げれば良いの？
- ②備蓄内容、場所、量  
何をどれくらい準備すれば良いの？  
何を持って避難すれば良いの？
- ③避難行動要支援者の避難  
いざという時一人で逃げられない高齢者、障がい者、子ども、外国人などは、どうやって避難すれば良いの？



### ワークショップ3・4

### 「防災活動メニューのアイデア出しと企画書の作成」

災害時の課題に対して、みんなで、今後地区で取り組みたい防災活動のアイデアを出しました。これをもとに5つの防災活動メニューの企画書を作成しました！



企画書は裏面を見てね！

## 小川町内会でこれから取り組む防災企画

みんなで考えた5つの企画の中から、向こう3カ年で取り組みたいものを投票して選びました。順位の高いものを参考にしながら、小川町内会の防災企画を進めます！

順位	企画のなまえ	概要
1位	避難経路の講習会と避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員や組長に対し、安全な避難経路の講習会を開催する。</li> <li>・避難行動要支援者の名簿を確認する。</li> <li>・訓練で避難の伝達や、安全な避難所までの避難誘導を行う。</li> </ul>
2位	水害時緊急避難行動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を小グループに分ける。</li> <li>・グループ単位で避難の声かけや安否確認をできるしくみを作る（LINEアプリ導入）。</li> <li>・市の防災ラジオ保有状況を確認、未整備世帯に購入を勧める。</li> </ul>
2位	安心・安全な避難訓練の方法を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落ごとに、避難行動要配慮者への対応を含めた、避難方法の勉強会を開催する。</li> <li>・組長は防災マップで避難ルートを確認し、実際の避難訓練でスムーズに避難できるか確認する。</li> </ul>
2位	地震時に必要な資機材の使い方講習会の開催と食料の試食会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会時に防災倉庫の備蓄品リストを配布する。</li> <li>・賞味期限が切れそうな非常食の試食会を行う。</li> <li>・「便利ポンチョ」と簡易トイレの使い方の勉強会を行う。</li> </ul>
3位	アウトドア派の人の経験、知識の分かち合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外で、ブルーシートテントや仮設トイレを手作りする。</li> <li>・寒さ対策、夜間の明かりの確保、ゴミ処理の工夫などを学ぶ。</li> <li>・ふれあい会に合わせて企画を実施する。</li> </ul>

## 地区防災計画づくりに参加した皆さんの声



沢山の人と時間を使って出来上がった地区防災計画を一人でも多くの人に理解してもらい、できることから実行したいです。



防災意識は高まったけど、自助努力ではどうにもできないことが多いことも分かった。やっぱり地域の多様な人たちの関わりが大切！



色んな人の意見を聞きながら、自分の見方、考え方、やり方を変えることで、沢山の防災対策に取り組めることが分かったわ。



防災は、一人ではなかなかその気になれないテーマだったけど、みんなで話し合うことでモチベーションが上がった！

### RSYからのメッセージ

高齢者や障がいのある方も含めて、早めの避難を促すための情報収集や、訓練方法などに沢山の配慮が見られました。防災は地道な一歩の積み重ね。最初から100点満点を目指す必要はありません。「できることからはじめよう！」を合言葉に、みんなでこの防災企画を、一つひとつ実行していきましょう。